

私たちは公共広告キャンペーン



に協賛しています。

- 株アメックス** 佐賀市開成5丁目7番28号 ☎0952-33-0912
- エステイ工業(株)** 鹿島市大字森1109-1 ☎0954-63-5344
- 株エフエム佐賀** 佐賀市本庄町286-5サカスクエアビル ☎0952-25-7790
- 有川代テント工業** 佐賀市与賀町佐大通り83 ☎0952-22-3365
- 株九州コーユー** 小城市三日町金田813 https://www.k-koyu.com/
- 株古賀商事** 佐賀市鶴島2丁目1番2号 ☎0952-31-2010(代)
- 株佐賀印刷社** 佐賀市高木瀬西6-11-7 ☎0952-31-6171
- 佐賀酒類販売(株)** 佐賀市開成6丁目10番16号 ☎0952-31-2255
- 株佐賀新聞ロジスティクス** 佐賀市天神3丁目2-23 ☎0952-22-5214
- 株佐賀電算センター** 佐賀市兵庫町藤木1427番地7 https://www.sdcns.co.jp/
- 株佐賀リコピーサービス** 佐賀市御本町7-8 ☎0952-31-4141(代)
- JA佐賀信連** 佐賀市栄町3番32号 https://www.jabank-saga.jp/
- 住友生命保険(相)** 佐賀支社 ☎0952-24-2373 http://www.sumitomo-life.co.jp/
- 誠文堂印刷(株)** 佐賀市兵庫北1丁目5番17号 ☎0952-22-3242
- 株全日警佐賀** 佐賀市本原3丁目7番16号 ☎0952-29-1309(代)
- 損害保険ジャパン(株) 佐賀カスタマーセンター室** 佐賀市天神3-15-1 ☎0952-41-2983
- 株田久保建設** 佐賀市鶴島町八戸3082番 http://www.takubo-y.com/
- 株チワタ** 佐賀市若宮3丁目1-16 ☎0952-30-4381
- 堤紙業(株)** 佐賀市御本町7番2号 ☎0952-31-6268
- TSPプラス(株)** (佐賀営業所) 佐賀市高木瀬西2-15-17-205 ☎0952-32-6311
- 株戸上電機製作所** 佐賀市大財北町1番1号 ☎0952-24-4111
- トヨタ紡織九州(株)** 神埼市神埼町鶴1600番地 http://www.tb-kyushu.co.jp/
- 株永池** 佐賀市高木瀬町大字家高木262-1 ☎0952-31-1151(代)
- 中島商事(株)** 鹿島市大字中村1979 ☎0954-63-1351
- 原田(株)** 佐賀市新中町9番11号 ☎0952-30-6001
- 富士警備保障(株)** 佐賀市鶴島町八戸瀬1428番地1 ☎0952-31-3251
- 株マツコヒューマンネットワーク** 佐賀市駅前中央1-9-41 バイネックスビル1F ☎0952-28-7858
- 株マルゼン看板** 佐賀市鶴島町大字八戸瀬2169-1 ☎0952-31-1543
- 株ミサワホーム佐賀(株)ユメックス** ☎0952-23-7141 ☎0952-33-5516



「GOgoさがスポ基金」助成団体紹介

この公共広告は、2024年に佐賀県で開かれる国民スポーツ大会(佐賀大会より「国民体育大会」から名称変更)と全国障害者スポーツ大会を応援するため、2017年からキャンペーンを展開している。今回は、県内スポーツの裾野拡大に力を入れ、市民が参加しやすい競技環境の向上に尽力した地域のスポーツ団体や大会実行委員会などを支援するため3年前に設立された「GOgoさがスポ基金」の助成先に決まった4団体を紹介する。

佐賀県フェンシング協会 (佐賀市)

防具の通電チェック機器を購入



フェンシング競技の練習に励むジュニアの選手たち=佐賀市の総合体育館フェンシング場

2021年東京オリンピックの男子エペ団体で金メダルに輝き、全国から注目を浴びる日本のフェンシング競技。銀色のマスクを被り、剣で突き合う同競技は華やかさを際立たせる。一方、突きや打突の有効性は、電気を通じて瞬時に判断するため、剣やメタルジャケットなどの繊細な防具の通電チェックは欠かせない。

同協会は、GOgoさがスポ基金を活用して剣や防具の通電をすぐにチェックできる精密機器「テスター」を導入する。同協会の小山田めぐみ理事は「試合前の防具の通電チェックは必至。不具合の防具で試合をしまうと、反則負けにつながる。テスターの常備は不可欠」と話す。

日本にはテスターを製作するメーカーはなく、主にドイツを中心とする欧米の製品を購入する。1台20万円を超える高額精密機器で、県協会でも1台しか保有していない。テスターは選手の剣や防具のメンテナンスを即時に済ませる半面、大会主催者側には検査機器としての大きな役割も担っている。

小山田理事は「新型コロナ禍で、中止になっていた大会が徐々に開かれるのに伴い、テスターを使う機会も多くなった。基金で購入した機器もフル活用したい」と話した。

佐賀ジュニアスキーチーム (佐賀県)

練習の経済的な負担軽減を



夏は芝生スキーで強化を図る佐賀ジュニアスキーチーム(提供写真)

佐賀ジュニアスキーチームは、佐賀県スキー連盟の所属団体として、現在小学3年生から高校3年生まで11人が在籍している。ジュニアの選手たちは、冬の全国中学校体育大会やインターハイ及び国体や九州、西日本の諸大会を目指し、アルペン競技を中心に練習を重ねている。

ジュニア選手の実力は、九州では上位に位置するものの、全国クラスとなると下位に甘んじている。要因として、練習できる環境が県内には全くなく、競技力向上の障壁となっていた。

今まで、主な練習施設として利用していた佐賀市富士町の天山スキー場が休業。その後閉鎖となり、ここ数年の1月から3月までのスキーシーズンは、大分県のくじゅう森林公園スキー場で練習するしかなく、毎週末、ジュニア選手は親と一緒に車で移動した。

こうした練習にかかる経済的な負担を軽減しようと、佐賀ジュニアスキーチームは、GOgoさがスポ基金の助成を活用し、同スキー場のリフトシーズンチケットの購入に充てる予定。2人のジュニア選手保護者の西村諭美子さんは「経済的負担を少しでも軽くすることで、子どもたちには練習に集中できる環境をつくりたい」と期待を込める。

さらなるスポーツの魅力発信を

Popcandy新体操クラブ (佐賀市)

県外のトップ選手の演技を間近に



県外遠征を重ねることで演技力の向上を目指すPopcandy新体操クラブの選手=佐賀市の巨勢小

Popcandy新体操クラブは、GOgoさがスポ基金の助成を活用し、中学生選手6人を、10月中旬の3連休を利用して新体操の強豪校(近畿地区)の合同練習に参加させた。同クラブの選手、小林真那心さん(城北中2年)は、「久しぶりの県外遠征。他県のトップクラスの演技を間近に見て、競技に対するモチベーションが上がった」とうれしそうに語る。

室内競技の新体操は、多くの大会が中止、無観客大会となり、遠征や合同合宿は制限されてきた。新体操の演技力をつけるには、多くの大会に出場し、全国クラスのクラブとの合同練習に参加して、トップ選手の演技を間近に見るのが大切だ。指導者の牟田樹さんは「技術を直接見ること、自らの演技力を磨こうとする意欲がわく。それがここ2年間、全くできなかった」と話す。

同クラブは設立して10年目。1年目のころからクラブの練習で汗を流してきた選手が、県内では団体優勝、個人総合優勝を果たすなど、実績を残している。後は全国レベルとの接点で得られた演技を磨くだけだ。

西与賀ジュニアバレーボールクラブ (佐賀市)

ゼロからのスタート まずは備品を



ゼロからのスタートとなった西与賀ジュニアバレーボールのメンバーと保護者=佐賀市の西与賀小

西与賀ジュニアバレーボールクラブは今年6月に発足したばかり。バレーボールクラブがある佐賀市内の小学校は数校にとどまり、同クラブの指導者・佐々木誠次さんは「(市内の)バレーボール競技に対するジュニアの育成体制は整備されているとは言いがたい」と話す。

クラブの活動拠点となる西与賀小学校も、バレーボールの備品はネットを張る支柱以外、何もなかった。同クラブは全くのゼロの状態からスタート。最初の練習に訪れた児童は、募集チラシを手にした2人だけ。支柱にロープを張り、ボールも地元体協から借りてきた。

発足して4カ月が過ぎ、毎週土曜日の練習には11人が集まる。メンバーがそろってきたので、同クラブはGOgoさがスポ基金の助成で、ネットや自前のボールといったバレーボールを楽しむ上で欠かせない備品をそろえる予定だ。

一番にクラブに入った西与賀小5年の吉末響太君は「バレーボールはマンガやアニメで知っていたので、クラブチームができたのはうれしい。一番楽しいのはラリーの応酬。バレーボールは本当に楽しい」と声を弾ませる。

「スポーツの底辺拡大に期待」

2022年度「GOgoさがスポ基金」の贈呈式は10月20日、佐賀新聞社で開かれ、助成先に決まった4団体に、佐賀新聞社の田中総執行役員営業局長から総額50万円が贈られた。式典では、田中総執行役員営業局長が「2年後の国スポに向け、県内ではスポーツ熱のボルテージが上がっている。そうした県民の期待を一身に受けるスポーツの関係者に、GOgoさがスポ基金を使ってもらうことで、少しでも活動や運営の後押しをできれば」とあいさつした。基金運営に携わった公益財団法人佐賀未来創造基金の山田健一郎代表理事も「助成を受けた4団体のみなさんが慣のつながりを感じることで、さまざまな地域でのスポーツ振興に向けた取り組みに期待したい」と4団体にエールを送った。

基金は、地域レベルでスポーツに親しむための活動、スポーツ競技の技術力向上に寄与する活動などに取り組む団体を対象に、1団体あたり20万円を限度に助成している。



贈呈式で4団体の代表に助成金の目録が手渡された=佐賀市の佐賀新聞社



国スポまであと 705 DAYS

DAYS

全障スポまであと 726 DAYS

※どちらも開会式を0日としてカウントしています

